

# 台風シーズン到来 豪雨災害に備え万全な対策を!

地震対策もお忘れなく!



一致協力して積み土のう工法を構築する女性消防団員

# 津消防タイムズ

第 17 号

発行 津市消防本部  
〒514-4101  
津市久居明神町 2276  
編集 消防総務課  
企画広報担当  
TEL 059-254-0353  
FAX 059-256-7755  
協力 津市防火協会

火災などの  
お問い合わせ  
224-1881  
救急医療情報案内  
256-1199

## 市民行動要領 (事前対策編)

停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオなど、新しい電池を準備する。  
避難に備えて、貴重品などの非常持出品の準備をする。  
断水の恐れがあり、飲料水の確保を忘れない。  
浸水に備えて、家財道具・食料品・衣服など、生活必需品を安全な場所に移動する。  
外出から早く帰宅して、非常時に備える。  
家族で避難場所を事前に確認しておく。  
家の周りの吹き飛ばされやすいもの、流されやすいものは、事前に排除する。

## 市民行動要領 (避難編)

ひも付きの運動靴(長靴や裸足は禁物)で避難する。  
道路冠水では、溝などを確認するため、先導者は長い棒を杖代わりにして歩く。  
水が腰の深さになったら、無理をせず高いところで救助を待つ。  
子供や高齢者には浮き袋を持たせる。  
病人や歩行困難者は背負って避難する。  
非常持出品などはリュックサックなどを使用し、両手は自由にする。  
避難時は、市役所、消防・警察機関などの指示に従う。  
自動車はもちろん厳禁、自転車も使用しない!

集中豪雨や台風などの出水期を前に、洪水や高潮などの水害に備えるため、平成十九年五月二十七日に木造町の雲出川左岸緑地公園で、津市水防訓練が行われました。

台風の接近に伴い、三重県中部の山間部を中心に集中豪雨となり、市内の各河川の水位が警戒水位に達し、堤防に越水や漏水などが生じたため、下流域の世帯に浸水の被害が予想されるという想定で訓練が実施されました。

訓練には、消防職員や消防団員の他、市幹部職員、自主防災組

織、地域住民、陸上自衛隊第三十三普通科連隊など、約七百四十人が参加して、水防工法構築訓練が行われ、付近住民や自主防災組織などによる積土のつ工法その他、改良積土のつ、月の輪同鋼製、釜段同鋼製、せき板、杭打ち積土のつ、また、シヨベルカを使用している大型土のつ構築など、様々な工法に参加者は真剣な表情で取り組んでいました。

訓練終了後、災害対策本部長の松田直久市長から、「市民にとって安全 安心な街づくり、大きな意味のある本番さながらの訓練でした。世界中では、温暖化による気候の変化で、想定のできない大災害が多く発生しています。今後も、より一層の協力をお願いします。」と講評がありました。